

令和6年度公共事業再評価調書

担当課名

道路整備課

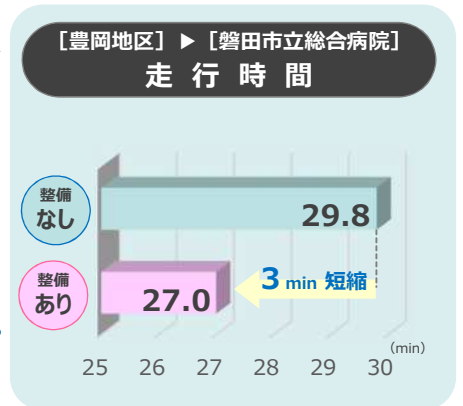
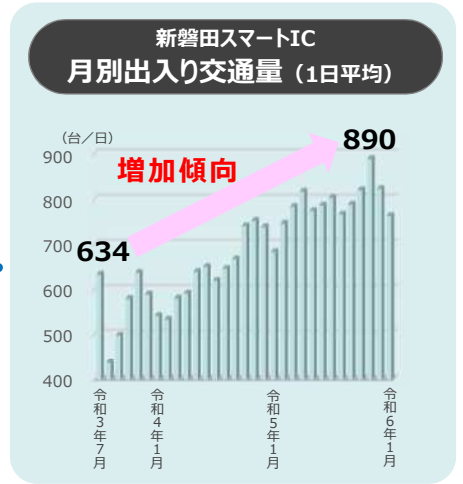
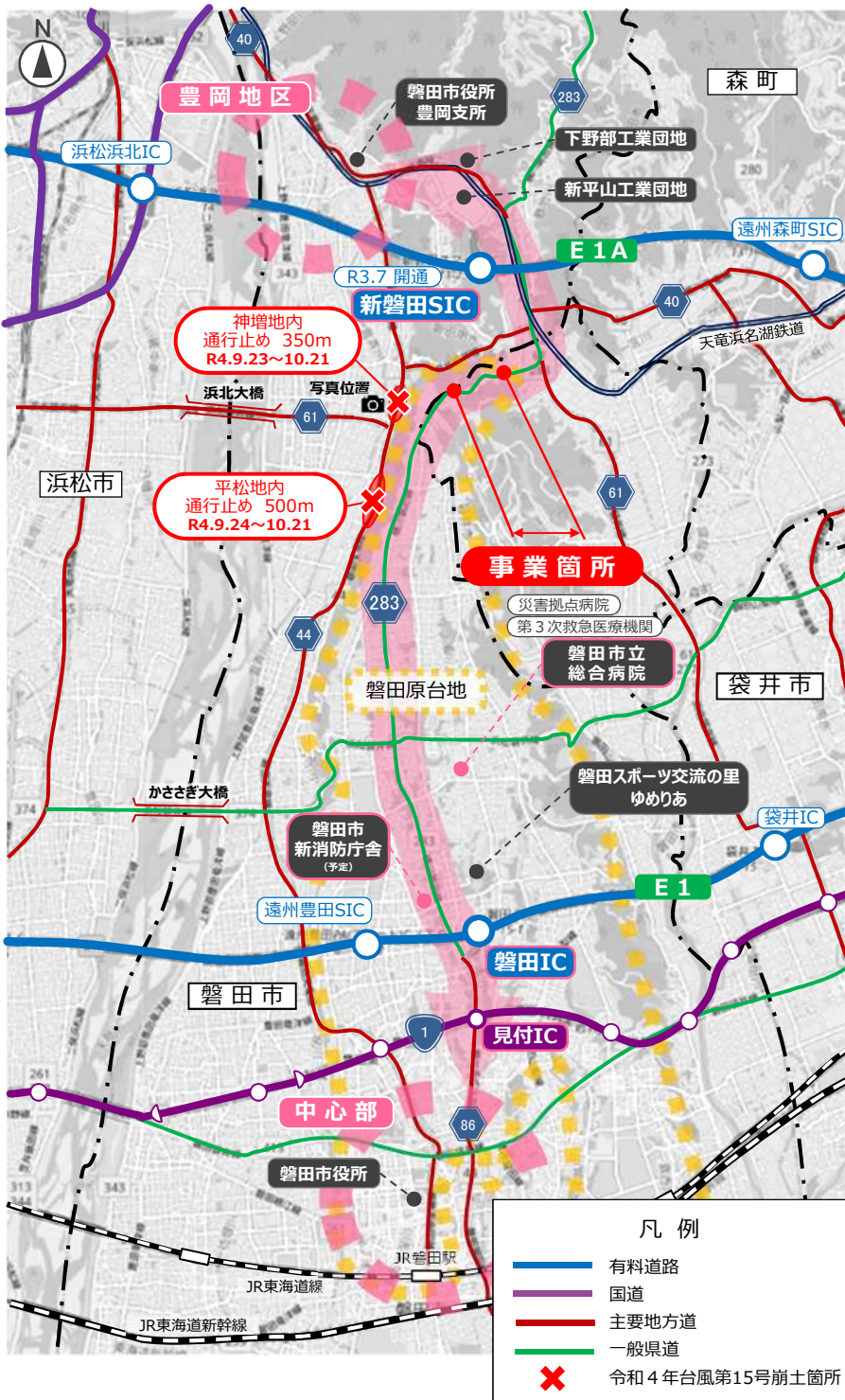
番号	7																			
事業名	道路改良事業		事業主体	静岡県																
箇所名	いっぽんけんどう よこかわいわたせん 一般県道 横川磐田線		関係市町	袋井市																
事業採択年度	令和 2 年度		計画期間	令和2年度 ~ 令和10年度																
用地着手年度	令和 7 年度		工事着手年度	令和 7 年度																
再評価理由※	事業採択 (R2) 後5年が経過した時点で継続中の事業																			
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	~R4年度	R5年度	R6年度見込	計														
	980		51	14	100	165														
事業概要	(1) 事業目的 本路線は、浜松市天竜区横川を起点とし、磐田原台地を南下して、磐田市見付の東名 磐田ICに至る延長22.3kmの地域の住民生活や発展に欠かせない道路である。 磐田市においては、新東名 新磐田スマートICがある市北部の豊岡地区と、磐田ICや市中心部を結ぶ路線として期待されているが、途中の袋井市山田地内には未改良区間が残存していることから、当該区間の道路改良により、交通の円滑化と安全を確保し、地域間の連絡機能強化を図る。																			
	(2) 事業内容 施工延長： 690 m (道路工： 690 m) 計画幅員： 7.0 m (全幅)																			
【視点1】	(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・令和3年7月 新東名 新磐田スマートICが開通。開通以降、出入り交通量が増加傾向。 ・令和4年9月 台風第15号に伴う大雨より、豊岡地区において甚大な被害が発生。 ・令和5年4月 磐田市が消防庁舎について、本路線沿線への移転を表明。																			
事業の必要性	(2) 事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和 6 年度時点)																			
	<table border="1"> <tr> <th>B/C (i=4%)</th> <th>参考:B/C (i=2%)</th> <th>参考:B/C (i=1%)</th> <th>EIRR</th> </tr> <tr> <td>1.7</td> <td>2.4</td> <td>3.0</td> <td>7.4%</td> </tr> </table> <p>・総便益 (B) 14.2 億円 (走行時間短縮便益：13.36億円、走行経費減少便益：0.89億円、交通事故減少便益：-0.02億円) ・総費用 (C) 8.5 億円 (建設費：8.21億円、維持管理費：0.31億円、用地残存価値：0.02億円)</p> <p>○見込まれる効果 (定性的な効果) ・東名・新東名、国道1号の各インターチェンジとともに、磐田市中心部と、市北部の豊岡地区との連絡機能が強化されることにより、地域間の交流や産業の活性化が期待される。 ・豊岡地区から磐田市立総合病院へのアクセス性が向上。 ・台地上を通過する本路線の特性を活かし、災害発生時のリダンダンシーを確保。</p>					B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	1.7	2.4	3.0	7.4%							
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																	
1.7	2.4	3.0	7.4%																	
【視点2】 今後の事業の進捗の見込み	(3) 事業の進捗状況 (令和 6 年度見込み)																			
	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>進捗率</th> <th colspan="2">内 訳</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>16.8%</td> <td>(165 百万円 / 980 百万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業量</td> <td>0.0%</td> <td>(0 m / 690 m)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td>0.0%</td> <td>(0 m² / 5,100 m²)</td> <td></td> </tr> </table> <p>評価 継続が妥当</p>					区分	進捗率	内 訳		事業費	16.8%	(165 百万円 / 980 百万円)		事業量	0.0%	(0 m / 690 m)		用地取得	0.0%	(0 m ² / 5,100 m ²)
区分	進捗率	内 訳																		
事業費	16.8%	(165 百万円 / 980 百万円)																		
事業量	0.0%	(0 m / 690 m)																		
用地取得	0.0%	(0 m ² / 5,100 m ²)																		
【視点3】 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなど、コスト縮減を図っていく。																			
対応方針 (案)	(1) 対応方針 (案) 本事業を 【 継続 】 する。 (2) 理由 本事業は、安全な交通の確保とともに、地域間の連絡機能や拠点へのアクセス性向上が期待できる。産業の活性化だけでなく、円滑な救急・救命活動への寄与や災害発生時のリダンダンシーなど、平常時・災害時を問わない役割や機能を担うことから、事業を継続する。																			

事業の投資効果

期待される効果 ① 地域間の連絡機能向上・拠点へのアクセス性向上

- 東名・新東名、国道1号の各インターチェンジとともに、磐田市中心部と、市北部の豊岡地区との連絡機能が強化されることにより、地域間の交流や産業の活性化が期待される。
- 豊岡地区から磐田市立総合病院へのアクセス性向上。さらに、本路線の沿線への消防庁舎移転により、円滑な救急・救命活動の一役を担うことが一層期待される。
- 土砂災害の影響を受けにくい台地上を通過する本路線の特性を活かし、災害発生時のリダンダンシーを確保。

< 地域間の連絡機能向上・拠点へのアクセス性向上 >



(主) 磐田天竜線 令和4年台風第15号通行止め状況

事業の投資効果

期待される効果 ② 安全で安心な交通の確保

- 未改良かつ線形不良区間である事業箇所では、過去に車両の正面衝突事故が発生。本事業により道路改良を行うことで、安全で安心な交通を確保。
- さらに、事故が多い並行路線からの交通の転換により、交通事故減少が期待される。

< 事業箇所及び周辺道路の事故発生状況（平成31年～令和4年） >



< 事業箇所の状況 >



見通しが悪い区間



幅員が狭小な区間

前回からの変更点

	採択時(R2)	今回(R6)	主な変更理由
①計画期間	R2~R7	R2~R10 (+3年)	・道路計画について関係者との調整に日時を要したため
②全体事業費	980百万円	980百万円 (変更なし)	・変更なし